

2021年度・公式規則変更予定報

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
競技規則委員会



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会競技規則委員会では、現在2021年秋季公式戦から適用される公式規則の変更作業を実施中です。

この「2021年度・公式規則変更予定報」は、本年の公式規則変更を予定している主要項目に関して概要を説明し、各競技団体の早めの対応を可能にするために発行されるものです。本予定報に記載している内容は、今後の作業により追加あるいは変更の可能性があります。

*正式には本年7月上旬に発表予定の「2021年度・公式規則変更内容・決定報」で公示いたします。

注*: 当委員会は、NCAA(全米大学体育協会)の競技規則変更内容をベースに変更作業を行っています。NCAAでは、4月中旬に規則変更内容が決定され、その後NCAAの競技規則書発行時に、編集上の変更項目等が織り込まれます。本予定報は現時点の情報をもとに、競技規則委員会で決定されたものです。決定報では、改訂後のNCAA競技規則書を反映し、競技規則委員会が決定したものを公示いたします。

2021年度・公式規則変更予定主要項目

2021年度の公式規則変更として予定している主要項目は、次のとおりです。なお、各々の解説の最後の()内の英数字は、この変更が行われる予定の公式規則の主たる「篇一章一条」を表します。

(1) チーム エリアの拡大

- ☆ 従来、チーム エリアは、フィールドの両側 25 ヤード ラインの間と規定されていた。
- ★ 本年より、チーム エリアは、両 20 ヤード ラインの間となる。チーム エリアの範囲およびその内外での制限に関するその他の規定は、従来のみである。 (1-2-4-a 変更)

(2) 超過節の規定の変更

- ☆ 従来、超過節(両チームそれぞれ 1 回のポゼッション シリーズ)は、試合の勝者が決定されるまで、4 回目の超過節までは 25 ヤード ライン上から繰り返され、5 回目の超過節の始まりからは 3 ヤードの地点から 2 点のトライの 1 プレーだけを行うという規定であった。また、3 回目および 4 回目の超過節においては、タッチダウンを得点した後は 2 点のトライでの得点のみが有効であった。
- ★ 本年より、2 回目までの超過節は従来通り 25 ヤード ライン上から開始され、3 回目の超過節の始まりからは 3 ヤードの地点から 2 点のトライの 1 プレーだけを行う。また、2 回目の超過節においては、タッチダウンを得点した後は 2 点のトライでの得点のみが有効となる。 (3-1-3-e および f 変更)

(3) 負傷を装うことの規定の変更

- ☆ 従来、負傷を装うことにより試合時間を得て利益を得るような戦術は、フットボール綱領、コーチの倫理g項で強く戒められていた。
- ★ 本年より、負傷を装うことにより攻撃側のモメンタムをなくすような戦術を禁止することも、フットボール綱領に追記される。また、チームおよび当該チームが所属する競技団体は当該試合担当の審判組織に対して、負傷を装うことが疑わしい行為に関してビデオによる検証を求めることができる。

(3-3-5-b 変更)

(4) スポーツマンらしからぬ行為の追加

- ☆ 従来、バンドを含む公式規則の適用を受ける者が、チームがシグナルを聞き取れないほどの騒音を発生することは禁止されていた。
- ★ 本年より、音声による妨害に加え、視聴覚機器オペレーター等、公式規則の適用を受ける者が、ビデオボード(ビジョン)やデジタル ライティング システムでプレーヤー等の気を散らすような視覚による試合の妨害も、スポーツマンらしからぬ行為の反則となる。

(9-2-1-b-5 変更)

以上